

B 表

平成 17 年度 共通教育 授業内容表

<p>授業科目 特許法・実用新案法</p> <p>英文名 : Patent Law</p> <p>主題 : I</p> <p>分野 : 社会</p> <p>2 単位</p>		<p>授業のテーマおよび目標 社会における特許(以下、「実用新案」を含む)の役割 特許の法上の取扱いだけでなく、社会における実情から、特許の制度意義と保護価値を学習する。</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特許とは何かを、法律規定から講義する。 2. 発明(以下、「考案」を含む)に対して独占権である特許権や実用新案権を付与する趣旨を考える。 3. 特許を受けることの出来る発明や考案とは何かを講義する。 4. 発明を保護する制度を、他の産業財産権や不正競争防止法との関係を考慮して理解する。 5. 講義では、適宜資料を配布し、実際の社会での係争事件を、判例を対象として検討する。 <p>[授業計画]</p> <table border="0"> <tr> <td>第 1 回</td> <td>特許制度の概要と私達の関わり</td> <td>第 2 回</td> <td>特許制度とその他の知的財産権制度</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>特許の出願から登録までの流れ</td> <td>第 4 回</td> <td>特許を受けることの出来る発明(1)</td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>特許を受けることの出来る発明(2)</td> <td>第 6 回</td> <td>特許を受けることの出来る者</td> </tr> <tr> <td>第 7 回</td> <td>特許権の効力</td> <td>第 8 回</td> <td>特許権の侵害</td> </tr> <tr> <td>第 9 回</td> <td>特許権の財産的活用</td> <td>第 10 回</td> <td>発明の国際的保護</td> </tr> <tr> <td>第 11 回</td> <td>特許に関連する審判と訴訟</td> <td>第 12 回</td> <td>社会における特許の事例(特許権)</td> </tr> <tr> <td>第 13 回</td> <td>社会における特許の事例(係争)</td> <td>第 14 回</td> <td>社会における特許の事例(係争)</td> </tr> <tr> <td>第 15 回</td> <td>定期試験(最終レポート作成)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		第 1 回	特許制度の概要と私達の関わり	第 2 回	特許制度とその他の知的財産権制度	第 3 回	特許の出願から登録までの流れ	第 4 回	特許を受けることの出来る発明(1)	第 5 回	特許を受けることの出来る発明(2)	第 6 回	特許を受けることの出来る者	第 7 回	特許権の効力	第 8 回	特許権の侵害	第 9 回	特許権の財産的活用	第 10 回	発明の国際的保護	第 11 回	特許に関連する審判と訴訟	第 12 回	社会における特許の事例(特許権)	第 13 回	社会における特許の事例(係争)	第 14 回	社会における特許の事例(係争)	第 15 回	定期試験(最終レポート作成)		
第 1 回	特許制度の概要と私達の関わり	第 2 回	特許制度とその他の知的財産権制度																																
第 3 回	特許の出願から登録までの流れ	第 4 回	特許を受けることの出来る発明(1)																																
第 5 回	特許を受けることの出来る発明(2)	第 6 回	特許を受けることの出来る者																																
第 7 回	特許権の効力	第 8 回	特許権の侵害																																
第 9 回	特許権の財産的活用	第 10 回	発明の国際的保護																																
第 11 回	特許に関連する審判と訴訟	第 12 回	社会における特許の事例(特許権)																																
第 13 回	社会における特許の事例(係争)	第 14 回	社会における特許の事例(係争)																																
第 15 回	定期試験(最終レポート作成)																																		
前 期	後 期																																		
曜日	金 曜日																																		
時限	9 ~ 10 時限																																		
<p>担当教官 笠 井 美 孝</p>		<p>教科書・参考書 「知っておきたい特許法」(政府刊行物, 工業所有権法研究グループ編集, 財務省印刷局発行)</p> <p>成績評価の方法 途中及び最終のレポート 70%, 出席 30%</p> <p>その他</p>																																	